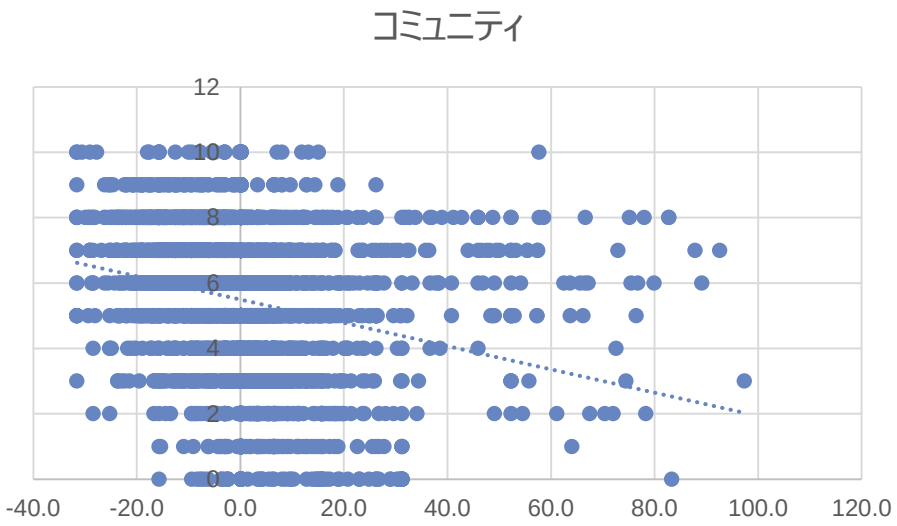
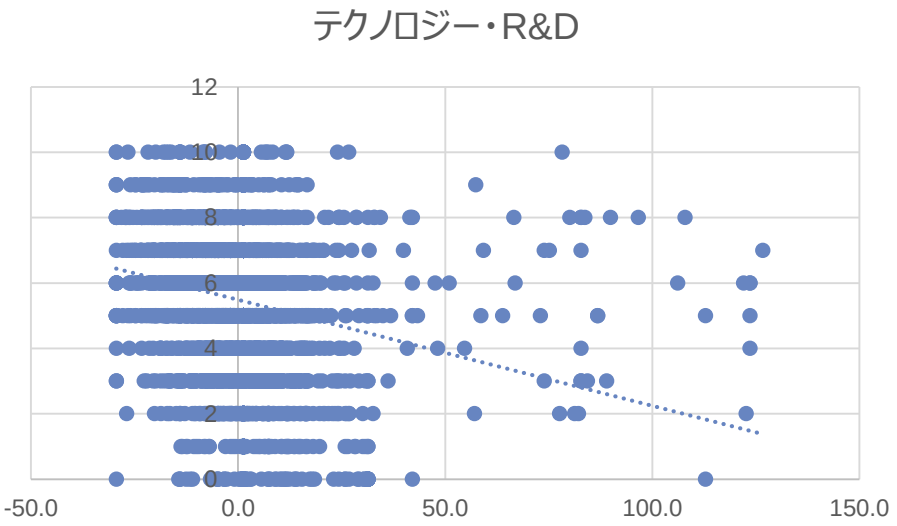
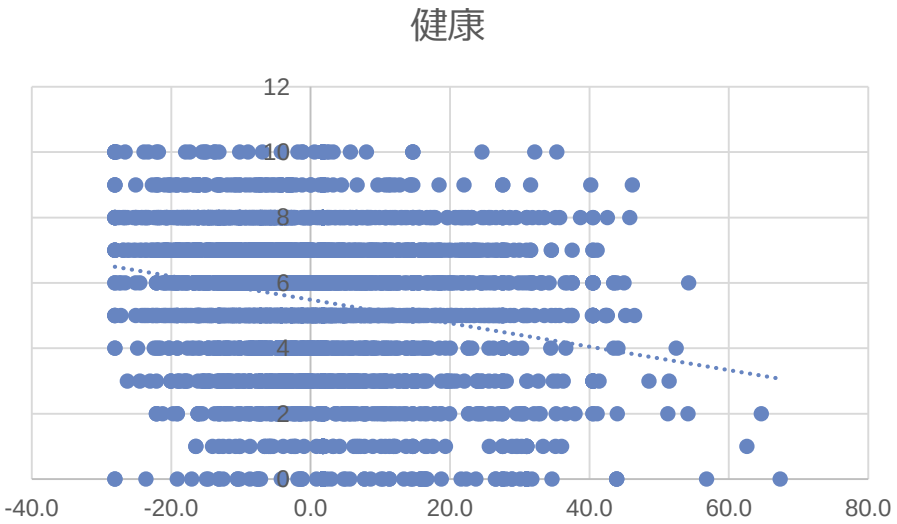
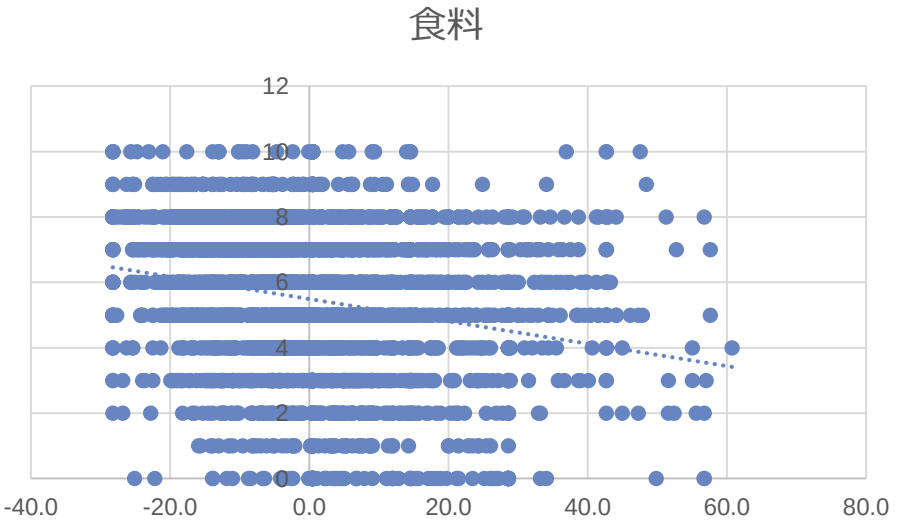
1　SUGATAMIを活用した分析
（３）満足感と必要度のギャップと幸福感の相関分析　2)分析結果（4/5）



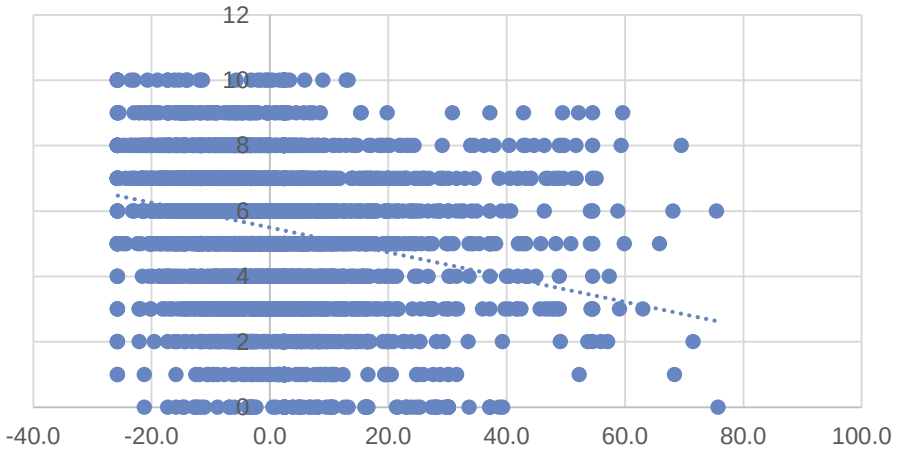




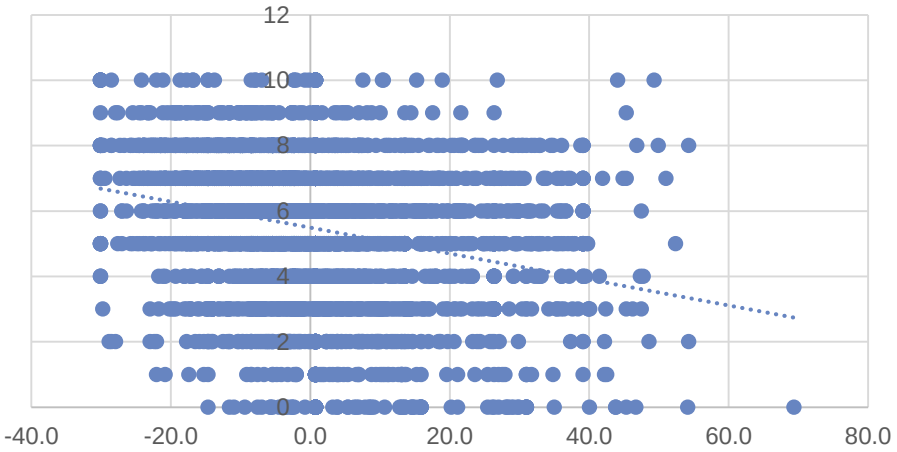


1　SUGATAMIを活用した分析
（３）満足感と必要度のギャップと幸福感の相関分析　2)分析結果（5/5）

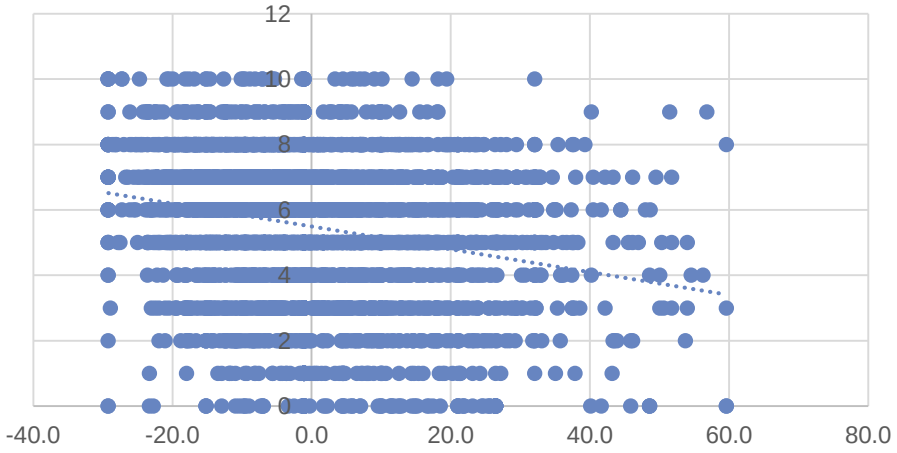
都市開発



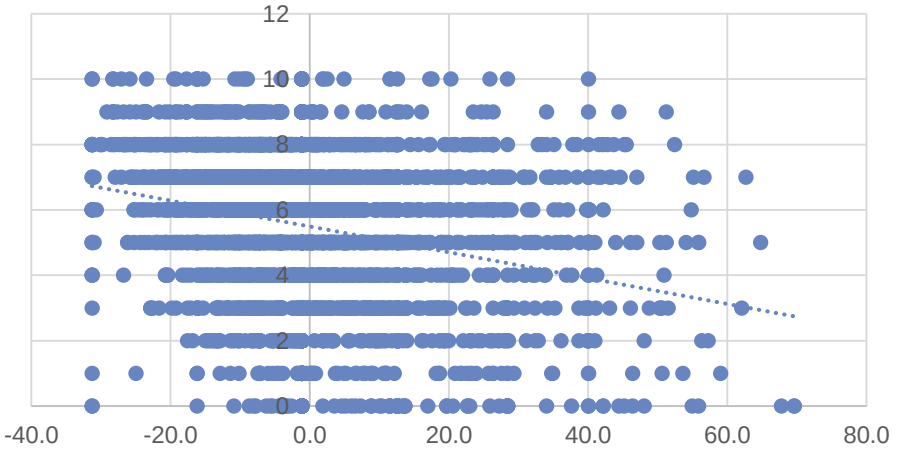
住宅



交通･輸送



福祉



1　SUGATAMIを活用した分析
（３）満足感と必要度のギャップと幸福感の相関分析

３）まちづくり施策への活用方法のイメージ

- 「キャントリルラダー」と「重要度と満足度のギャップ」について一定の相関が認められることから、重要度が高いにも関わらず満足度が低い領域（下図のピンクの領域）については、キャントリルラダー（幸福感）を押し下げている可能性※も考えられることから、「当該領域に該当する分野の施策を優先度高く実施する」といったまちづくりへの活用方法も考えられる。

※可能性：先の分析は相関であり因果でないことに留意が必要。

2　先行事例の主観的指標のアンケート項目
（１）LWCI（Liveable Well-being City Indicator）の主観指標（1/2）

指標の柱 (構成要素)	因子	#	項目（アンケート項目）
地域における 幸福度・満足度	幸福度・ 満足度	1	現在、あなたはどの程度幸せですか。
		2	現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。
		3	あなたの町内（集落）の人々は、大体において、どれぐらい幸せだと思いますか。 ここでは自分の同居家族は除いて考えてください。
		4	自分だけでなく、身近なまわりの人も楽しい気持ちでいると思う
		※	今から5年後、あなたはどの程度幸せだと思いますか。　　※オプショナル設問（本設問の利用可否は各自治体にて判断）
生活環境	医療・福祉	5	暮らしている地域は、医療機関が充実している。
		6	私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい。
	買物・飲食	7	暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない。
		8	私の暮らしている地域では、飲食を楽しめる場所が充実している。
	住宅環境	9	自宅には、心地のいい居場所がある。
		10	**【逆】**自宅の近辺では、騒音に悩まされている。
		11	私の暮らしている地域では、適度な費用で住居を確保できる。
	移動・交通	12	私の暮らしている地域では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる。
	遊び・娯楽	13	私の暮らしている地域には、楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある。
	子育て	14	私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い。
		15	私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる。
	初等・中等教育	16	私の暮らしている地域では、教育環境（小中高校）が整っている。
		17	私の暮らしている地域では、通学しやすい場所に学校がある。
	地域行政	18	暮らしている地域の行政は、地域のことを真剣に考えていると思う。
		19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である。
	デジタル生活	20	私の暮らしている地域では、行政サービスのデジタル化が進んでいる。
		21	私の暮らしている地域では、仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい。
	公共空間	22	暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい。
		23	私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある。
	都市景観	24	私の暮らしている地域には、自慢できる都市景観がある。
	自然景観	25	私の暮らしている地域には、自慢できる自然景観がある。

2　先行事例の主観的指標のアンケート項目
（1） LWCI（Liveable Well-being City Indicator）の主観指標（2/2）

指標の柱 (構成要素)	因子	#	項目（アンケート項目）
生活環境	自然の恵み	26	暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる。
		27	暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる。
	環境共生	28	私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである。
	自然災害	29	私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている。
	事故・犯罪	30	私の暮らしている地域は、防犯対策（交番・街燈・防犯カメラ・住民の見守り等）が整っており、治安がよい。
		31	私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である。
地域の人間関係	地域とのつながり	32	私は、同じ町内（集落）に住む人たちを信頼している。
		33	私の暮らしている地域では、地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである。
		34	暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる。
		35	私は、町内（集落）の人が困っていたら手助けをする。
		36	私は、この町内（集落）に対して愛着を持っている。
	多様性と寛容性	37	この町内（集落）には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある。
		38	私は、見知らぬ他者であっても信頼する。
		39	私は、町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる。
		40	私の暮らしている地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある。
		41	私の暮らしている地域には、若者が活躍しやすい雰囲気がある。
自分らしい生き方	自己効力感	42	自分のことを好ましく感じる。
	健康状態	43	私は、身体的に健康な状態である。
		44	私は、精神的に健康な状態である。
	文化・芸術	45	暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい。
		46	将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい。
	教育機会の豊かさ	47	私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある。
	雇用・所得	48	私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい。
		49	私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある。
	事業創造	50	暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会がある。

2　先行事例の主観的指標のアンケート項目
（２）熊本県の主観指標

#	項目（アンケート項目）
1	現在、あなたは幸せだと感じていますか。
2	次の４つの分類について、あなたの幸福で重視する順番をお答えください。 A：夢を持っている （家族関係、仕事関係、教育環境） B：誇りがある （自然資源、歴史・文化、地域社会とのつながり） C：経済的な安定 （家計所得、消費活動、住まい） D：将来に不安がない（心身の健康、食と生活環境の安全、防災・治安）
3	現在、あなたは次の４つの分類について、満足していますか。
3-1	A：夢を持っている（家族関係、仕事関係、教育環境）
3-2	B：誇りがある（自然資源、歴史・文化、地域社会とのつながり）
3-3	C：経済的な安定（家計所得、消費活動、住まい）
3-4	D：将来に不安がない（心身の健康、食と生活環境の安全、防災・治安）

2　先行事例の主観的指標のアンケート項目
（３）富山県の主観指標（1/4）

※設問1から5はアンケート回答者の住所等に関する設問であったため省略

指標の柱 （構成要素）	項目	#	項目（アンケート項目）
生活での 実感について	普段の あなた自身の 実感について	6-1	身体の状態は健康だと感じている。
		6-2	心の状態は健康だと感じている。
		6-3	生活に必要な所得や資産がある。
		6-4	自分のしたいことをする、または欲しい物が買える経済的なゆとりがある。
		6-5	住まいは快適・安全・安心であると感じている。
		6-6	自分を受け入れてくれて、心から安らげる場所がある。
		6-7	現在置かれている立場・地位に満足を感じている。
		6-8	楽しい、嬉しい、面白いなど（ポジティブな）明るい気持ちになることが多い。
		6-9	自分の選択や行動は、自らの意思で自由に決めている。
		6-10	自分らしく、ありのままでいられている。
		6-11	娯楽や趣味、学びを行うための、自分の自由な時間がある。
		6-12	時間を忘れて夢中になることや没頭することがある。
		6-13	自分が行っていることに、やりがい・生きがいを感じている。
		6-14	様々な困難があっても、乗り越えていくことができると感じている。
		6-15	様々な困難があっても、乗り越えていくことができると感じている。
		6-16	将来に、期待や楽しみ、ワクワクする気持ちを感じている。
		6-17	他の人に対して感謝の心を持ち、「ありがとう」と言葉で伝えている。
		6-18	他の人を喜ばせたい、楽しませたいという気持ちを持って行動している。
		6-19	他の人のために、親切な対応や手助けをするよう心がけている。
		6-20	他の人が自分と異なる価値観や意見を持っていても、それを尊重している。
	家族との 関係について	7-1	家族との関係は良好である。
		7-2	家族と一緒にいることで、嬉しい、楽しいなど（ポジティブな）明るい気持ちになることが多くある。
		7-3	困った時や苦しい時に、家族は力になってくれると感じている。
		7-4	家族は、あなたの意見や価値観を理解・尊重してくれている。
		7-5	家族はあなたの夢や目標達成のため、応援・協力してくれている。（または、応援・協力してくれると感じている。）

2　先行事例の主観的指標のアンケート項目
（３）富山県の主観指標（2/4）

指標の柱 (構成要素)	項目	#	項目（アンケート項目）
生活での実感について	友人との関係について	8-1	友人との関係は良好である。
		8-2	友人と一緒にいることで、楽しい、嬉しいなど（ポジティブな）明るい気持ちになることが多くある。
		8-3	困った時や苦しい時に、友人は力になってくれると感じている。
		8-4	友人は、あなたの夢や目標達成のため、応援・協力してくれている。（または、応援・協力してくれると感じている。）
	在籍・参加している職場や学校、各種団体・グループ等（「職場・学校等」）について	9-1	職場・学校等での人間関係は良好である。
		9-2	職場・学校等で楽しい、嬉しいなど（ポジティブな）明るい気持ちになることが多くある。
		9-3	職場・学校等に愛着や誇りがある。
		9-4	職場・学校等は、自分の夢や目標を実現できる場である。
	お住まいの場所の近所や町内（「地域」）について	10-1	地域での人間関係は良好である。
		10-2	困った時や苦しい時に、地域の人は助けてくれると感じている。
		10-3	地域には、楽しい、嬉しいなど（ポジティブな）明るい気持ちになることができる場所や機会が多くある。
		10-4	地域の人は、あなたの意見や価値観を理解・尊重してくれる。
	富山県での暮らしに対するあなたの実感について	11-1ア)	富山県での暮らしに不安はない。 防災・防犯 面
		11-1イ)	医療・福祉 面
		11-1ウ)	移動（交通）面
		11-2	全体として、あなたの意見や価値観を理解・尊重してくれる環境がある。
		11-3	全体として、あなたが成長するための学びや経験ができる環境がある。
		11-4	全体として、あなたの夢や目標が実現できる環境がある。
		11-5	富山県の未来に、期待や楽しみ、ワクワクする気持ちがある。
		11-6	富山県ならではの自然や食、文化等に愛着や誇りがある。
	あなたの生活全体に対する実感について	12-1	総合的に、生活が整っている（仕事など社会活動や、余暇活動など、様々な面のバランスや調和がとれている）と感じている。

2　先行事例の主観的指標のアンケート項目
（３）富山県の主観指標（3/4）

指標の柱 (構成要素)	項目	#	項目（アンケート項目）
生活での実感について	-	13-1	あなたにとって、最も理想的な生活であると思う状態を「10」、最悪であると思う状態を「０」として、「10」～「０」の 11 段階で表現すると、①現在、あなた自身は、どの程度の状態であると感じていますか。また、② ５ 年前は、どの程度の状態であったと思いますか。そして、あなたの想像では、③ ５ 年後どういう状態になっていると思いますか。それぞれの設問につき１つ、あてはまる段階を選んで〇をつけてください。 現在
		13-2	5年前
		13-3	5年後
その他の事項	健康、余暇活動等について	14-1	普段から、歩くこと（ウォーキング）に取り組んでいますか。
		14-2	スポーツ観戦や応援を積極的に行っていますか。
		14-3	芸術・文化（美術、音楽、演劇・演芸、舞踊、生活文化、文芸、映画、メディア芸術、伝統芸能等）鑑賞を積極的に行っていますか。
		14-4	芸術・文化に関する活動（創作、演奏、出演、習い事、体験等）を積極的に行っていますか。
		14-5	スポーツや芸術・文化等の分野で、特に応援や支持している対象、人に薦めたいほど好感を持っている対象はありますか。
		14-6	あなたは、日常生活の中で、意識的に取り組む運動やスポーツをどの程度行っていますか。あてはまるものを１つ選んでください。
		14-7	あなたにとって、運動やスポーツ（観戦や応援、大会等の運営への協力を含む）を行うことにどういう意味がありますか。次の中から２つまで選んでください。
		14-8	あなたが心身ともに健康であり続けるために、特に大切だと思うことを次の中から２つまで選んでください。
		14-9	芸術・文化鑑賞のうち、コンサート（※）、美術館・博物館等の展覧会、舞台公演等の鑑賞は、あなたの余暇活動の充実のために大切なことだと思いますか。 ※この設問ではポピュラー音楽や歌謡曲を除く、クラシック音楽、邦楽、声楽などを指します。
	食について	15-1	あなたは、普段、家族や友人等と一緒に食事をとることは週にどの程度ありますか。
		15-2	あなたは、普段、家で料理をすることは週にどの程度ありますか。 ※この設問では、「料理」は、野菜や肉などの材料からご自身で作ることを指します。 （お店で買った総菜等を温め直すことは含みません。）

2　先行事例の主観的指標のアンケート項目
（３）富山県の主観指標（4/4）

指標の柱 (構成要素)	項目	#	項目（アンケート項目）
その他の事項	地域とのつながり、交流について	16-1	家庭や職場・学校以外で自分と異なる世代の人と交流する機会はありますか。
		16-2	家庭や職場・学校以外で自分と異なる世代の人と積極的に交流したいと思いますか。
		16-3	あなたは、農山漁村地域（※）で暮らしてみたい又は活動してみたいと思いますか。 ※この設問で「農山漁村地域」は周辺に農地や森林が広がり農林漁業が盛んな地域を指します。
		16-4	③で１、２、６に〇をつけられた方のみお答えください。 あなたが農山漁村地域で、生きがいや地域・人との繋がりを実感する（したい）活動はありますか。次の中から２つまで選んでください。
	地域や住まいの安全・安心について	17-1	あなたが生活する地域に、防犯や防災、事故防止上不安な箇所があると感じていますか。
		17-2	あなた自身や周りの人の安全・安心の実感向上のため、地域での見守りや防犯・防災活動等の取組みを積極的に実施したいと思いますか。
		17-3	あなたの安全・安心の実感向上に、地域での防犯カメラ設置は役立つと思いますか。
		17-4	あなたにとって、理想的な生活を実現するために、住まいに特に求めることは何ですか。次の中から３つまで選んでください。
	仕事について	18-1	現在、仕事をされている方にお聞きします。
		18-2	あなたを含め、あなたの職場で働く人は、「働きがい」を持って、自らの仕事にいきいきと積極的に取り組んでいると感じますか。
	次のことについて、家族や親しい友人等にどの程度、おすすめしたいと思いますか。	19-1	富山県で働くこと
		19-2	富山県で子育てすること
		19-3	富山県で教育を受けること
		19-4	富山県で暮らすこと
		-	上記回答の理由があれば自由に記入してください。箇条書きでも構いません。

2　先行事例の主観的指標のアンケート項目
（４）荒川区の主観指標（1/4）

指標の柱 (構成要素)	#	項目（アンケート項目）
居住と生活環境	1	荒川区にお住まいになって何年になりますか。
	2-0	これからも荒川区にお住まいになりますか。
	2-1	問２で「１」、「２」とお答えの方に伺います問 2-1 その主な理由は何ですか。次の中からお選びください。（○はいくつでも）
	2-2	問２で「３」、「４」とお答えの方に伺います問 2-2 その主な理由は何ですか。次の中からお選びください。（○はいくつでも）
	3	現在の荒川区を住みよいと思いますか。
	4	今後、荒川区のまちづくりを進めていく上で重要な課題と思われるものを、次の中からお選びください。
	5	あなたは、地域の行事や活動に参加していますか。（○は１つだけ）
	6	あなたは、町会・自治会をはじめとする地域コミュニティにどのようなことを期待しますか。（○はいくつでも）
	7	あなたは、町会・自治会をはじめとする地域コミュニティへの参加を促進するために必要だと思うことはなんですか。（○はいくつでも）
防災対策	8-0	災害時に備えた食料や飲料水の備蓄について、どのような取組をしていますか。
	8-1	何日分の備蓄をしていますか。（○は１つだけ）　※備蓄用として販売されている食料等だけでなく、普段使っている食料等（パックご飯、レトルト食品、缶詰、カップ麺、お菓子類、ペットボトル飲料（水・お茶等））を多めに購入している分（日常備蓄）も含めてご回答ください。
	8-2	食料や飲料水の備蓄を行っていない理由について、次の中から当てはまるものをお選びください。（○はいくつでも）
	9-0	ここからはすべての方に伺います。 あなたの家では、地震に備え、家具類の転倒・落下・移動防止対策器具の設置を行っていますか。
	9-1	問９で「５ 行っていない」とお答えの方に伺います。 区で家具類の転倒・落下・移動防止対策器具の設置に５千円～２万円（条件有）の助成金が出る制度がありますが、設置を行っていない理由を教えてください。（○はいくつでも）
	10-0	ここからはすべての方に伺います。 過去の大規模地震時に発生した火災の原因の約６割が、地震による停電から電気が復旧した時に発生する通電火災によるものでした。通電火災を防ぐためには、強い揺れを感知した時に電気を自動的に止める「感震ブレーカー」という装置を設することが有効です。「感震ブレーカー」の設置状況についてお答えください。（○は１つだけ）
	10-1	問 10 で「４ 感震ブレーカーを知っているが設置していない」とお答えの方に伺います。 荒川区では感震ブレーカー等の設置について、５千円～１０万円（条件有）の助成金が出る制度がありますが、「感震ブレーカー」を設置していない理由を次の中からお選びください。（〇はいくつでも）
	10-2	感震ブレーカーにはいくつかの種類があります。電気工事が必要な分電盤タイプ（標準的なもので５～８万円ほど）やコンセントタイプ（標準的なもので５千円～２万円ほど）、電気工事が不要で簡単に取り付けられるタイプなど、仕組みや価格は多様です。荒川区では感震ブレーカー等の設置について、５千円～１０万円（条件有）の助成金が出る制度がありますが、上記を踏まえ、設置を検討したいと思いますか。（○は１つだけ）

2　先行事例の主観的指標のアンケート項目
（４）荒川区の主観指標（2/4）

指標の柱 (構成要素)	#	項目（アンケート項目）
防災対策	11-0	ご自宅にある消火器具をお選びください。（「１」、「２」、「３」は、○はいくつでも）
	11-1	問11で「４上記のものは置いていない」とお答えの方に伺います。 消火器具を置いていない理由について、最もあてはまるものをお選びください。
防犯対策	12-0	あなたは過去５年以内に、自転車の盗難被害に遭ったことがありますか。（○は１つだけ）
	12-1	問12で「１」、「２」とお答えの方に伺います。 あなたは普段自転車に鍵をかけていますか。（○は１つだけ）
	12-2	問12-1で「１いつもかけている」とお答えの方に伺います。 自転車の盗難対策のために、通常の鍵以外に特に実施していることはありますか。（○はいくつでも）
	12-3	問12-1で「２かけていたり、かけていなかったりしている」とお答えの方に伺います。 鍵をかけないのはどんな場面ですか。（○はいくつでも）
	12-4	問12-1で「２かけていたり、かけていなかったりしている」、「３常にかけていない」とお答えの方に伺います。 なぜ鍵をかけないのですか。（○はいくつでも）
健康づくり	13	あなたは健康診断を1年以内に受けましたか。（○は１つだけ）
	14-1	あなたは、以下のがん検診を受けていますか。（○はそれぞれ１つずつ） 胃がん
	14-2	肺がん
	14-3	大腸がん
	14-4	（女性のみ）乳がん
	14-5	（女性のみ）子宮頸がん
	15	問13で「７受けていない」、または、問14で１つでも「４受けていない」とお答えの方に伺います。 健康診断やがん検診を受けなかった、または、受けないとする場合の理由は何ですか。（○はいくつでも）
	16	ここからはすべての方に伺います。 主食（ごはん、パン、麺など）・主菜（肉・魚・卵・大豆製品などを使ったメインの料理）・副菜（野菜・きのこ・いも・海藻などを使った小鉢・小皿の料理）を３つそろえて食べることが一日に２回以上あるのは、週に何日ありますか。（○は１つだけ）
	17-1	日々の食生活で次のことを意識していますか。（○はそれぞれ１つだけ） あなたは、野菜を１日何皿分食べていますか。
	17-2	あなたは、果物を１日どのくらい食べていますか。
	17-3	日々の食生活で食塩を控えることを意識していますか。

2　先行事例の主観的指標のアンケート項目
（４）荒川区の主観指標（3/4）

指標の柱 （構成要素）	#	項目（アンケート項目）
健康づくり	18	過去１ヶ月間、あなたの１日の平均睡眠時間はどのくらいでしたか。（○は１つだけ）
	19	日常生活において歩行又は同等の身体活動を１日１時間以上実施していますか。（○は１つだけ）
脱炭素社会に向けて	20-0	温暖化防止と「脱炭素社会」の実現に向けた各家庭での取組について、あなたの考えに最も近いものをお選びください。（○は１つだけ）
	20-1	問 20 で「１」、「２」、「３」とお答えの方に伺います。 「脱炭素社会」の実現に向けた各家庭での取組について、あなたが取り組んでいること、または今後取組を検討していることをお選びください。（○はいくつでも）
	21	ここからはすべての方に伺います。 「脱炭素社会」の実現に向けて、あなたを含めた区民の皆様に対し、区はどのような支援を行うことが必要だと考えますか。あなたの考えに最も近いものをお選びください。（○は１つだけ）
人権意識	22	あなたは、今の社会は人権が守られていると思いますか。（○は１つだけ）
	23	あなたが、関心があり、解消に向けて取り組むべきと考える人権問題は何ですか。（○はいくつでも）
	24-0	これまでに自分が人権を侵害された経験や、身の周りで他の人が人権侵害を受けていることを見聞きした経験はありますか。（○は１つだけ）
	24-1	問 24 で「１」、「２」、「３」とお答えの方に伺います。 以下のうち、どのような人権侵害でしたか（問 24 で「３」を選んだ方は、あなたが経験した人権侵害についてお答えください）（○はいくつでも）
	24-2	人権を侵害されることがあったとき、あなたはどのように対応しましたか。（○はいくつでも）
	24-3	相談しなかった・できなかった理由は何ですか。（○はいくつでも）
	25	ここからはすべての方に伺います。 すべての人の人権が尊重され、多様性を認め合う社会を実現するためには、どのような事業や取組が必要だと考えますか。（○はいくつでも）
	26	すべての人の人権が尊重され、多様性を認め合う社会を実現するために、あなた自身ができることはどんなことですか。（○はいくつでも）
区政への関心と要望	27	あなたは、区政にどの程度関心がありますか。（○は１つだけ）
	28	区に意見・要望や相談することがある場合、どのような手段を利用したいですか。（○はいくつでも）
	29	荒川区が行っている次の事業のうち、「今後、特に力を入れてほしいと思うもの」を、次の中からお選びください。（○は５つまで）
あなたご自身について	F1	年代
	F2	現在お住まいの地域
	F3	ご職業

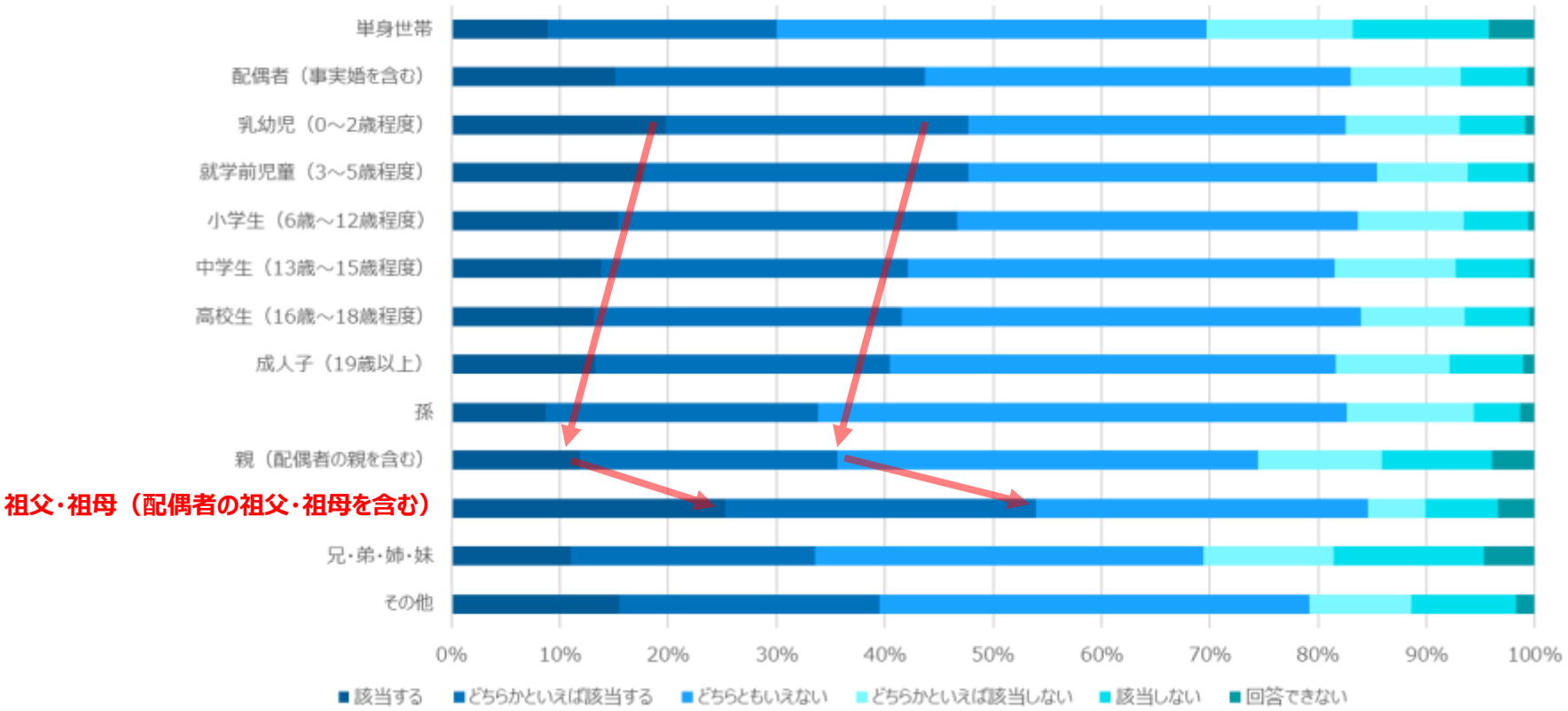
2　先行事例の主観的指標のアンケート項目
（４）荒川区の主観指標（4/4）

指標の柱 (構成要素)	#	項目（アンケート項目）
あなたご自身について	F4	同居世帯の人数（あなた自身を含みます）
	F5	同居世帯の構成
	F6	同居しているお子様について
	F7	お住まいの形態
	F8	外国人住民の皆様の意向や生活意識などを把握させていただくため、外国籍の方は下にある＊＊の中に○印を記入してください。
	F9	性別
-	-	区政についてのご意見・ご要望がありましたら、ご記入ください

3　アンケート調査の回答集計を踏まえた示唆
（１）属性別集計で表出した特徴

- 本調査で実施したアンケート調査について、属性別（全12属性）に集計を実施することで、属性による回答の傾向があるか確認したところ、「同居者」の属性において特徴がみられた。
- 同居者別集計においては、同居者の年齢が若いほどポジティブな回答となっている傾向が強いが、同居者が「祖父・祖母（配偶者の祖父・祖母を含む）」の場合は、突出してポジティブな回答となっている。
- 現在、家族形態としては核家族化が進行していると思われるが、祖父母の存在が同居者にポジティブな影響を与える可能性を示唆している。

同居者別の集計結果（全設問サマリ）

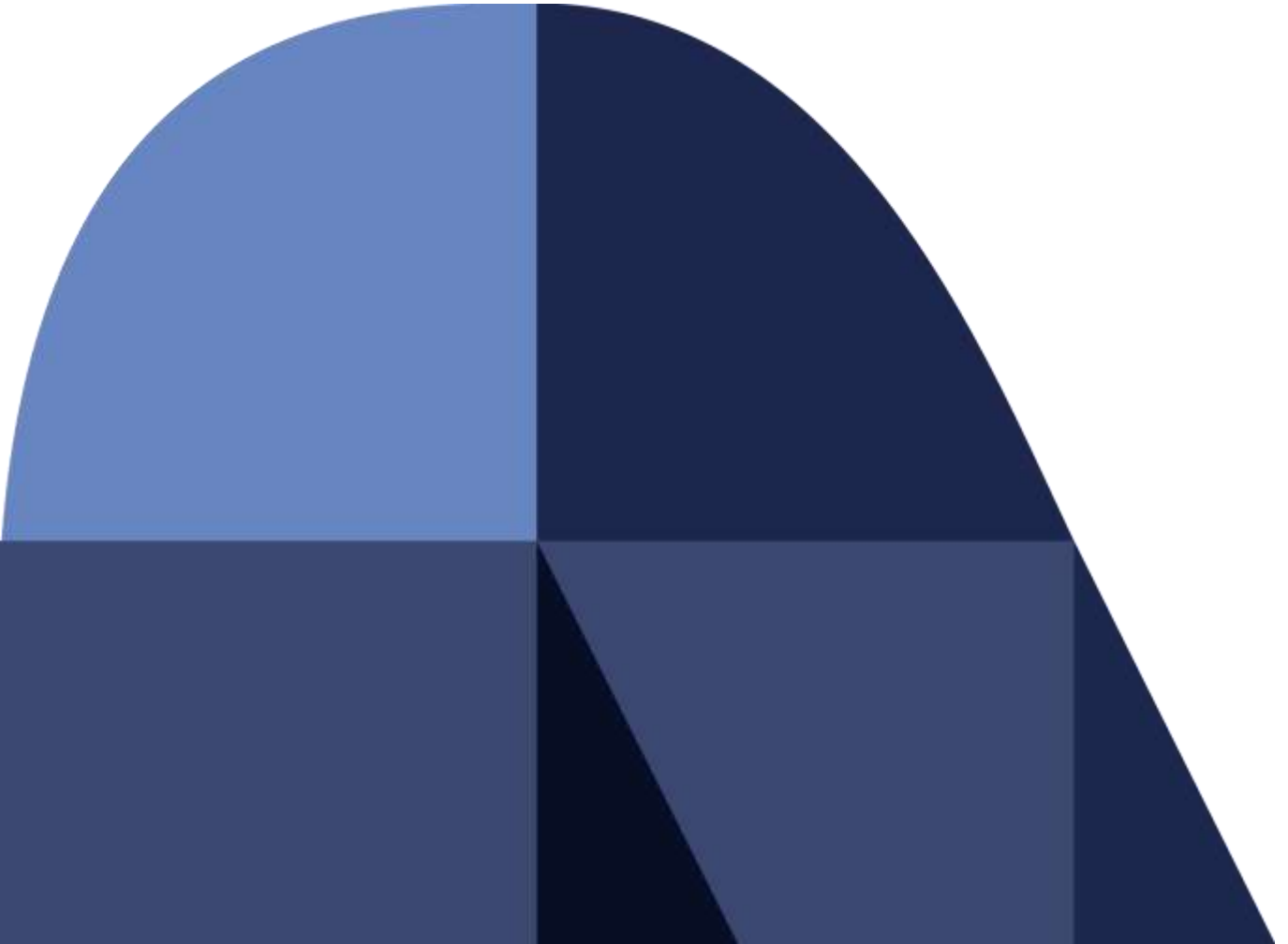


４　札幌市の課題への対応に参考となる客観的指標
（１）出生率向上の参考となる客観的指標

- 札幌市が抱える出生率の改善及び若年層の道外転出の抑制といった課題を踏まえ、「出生率の向上」に寄与に関する先行研究をいくつか調査し、現時点で信憑性が高いと考えられる客観的指標（指標を批判する論文等がない）を抽出した。
- 今回調査した研究の結果を踏まえると、「父親がどれだけ育児に関与するか（又は関与できる時間・環境をつくるか）」という観点が、出生率に大きな影響を与えると推察される。

課題	No	先行研究が示す客観的指標または観点	概要	参考資料
出生率向上	1	第1子出生時の父親の育児参加度	第1子出生時の父親が育児に積極的に参加している夫婦は、第２子以降をもつ確率が高い。 なお、父親が積極的に育児に参加すると、母親の育児不安や育児意欲低下を軽減させ、子どもの社会性獲得や小学校生活の親和性にも良い影響を与える研究結果が出ている。	新しい行動様式の変化等の分析・把握を目的とした縦断調査の利用方法の開発と厚生労働行政に対する提言に関する研究（厚生労働省）
	2	父親の労働時間	父親が長時間労働（週60時間以上の労働と定義）となっている家庭ほど、父親の育児参加度は低下する。	
	3	父親の第１子誕生後の休暇取得率	育児休暇を取得することで、第２子以降の出生率に正の影響を与える。 さらに、休暇取得日数が長いほど、出生率に正の影響を与える。	夫の出産・育児に関する休暇取得が出生に与える影響（国立社会保障・人口問題研究所）
	4	企業等による家庭と仕事の両立支援の充実度	育児休業制度や短時間勤務制度といった、家庭と仕事を両立するための施策が充実している企業に所属する人ほど、出生率に正の影響を与える。	
	5	娯楽事業所数	日本の出生率が高い都市において、娯楽施設は、若いカップルや子育て世代を引き付ける魅力の一つと考えられる。その他の施設（小売販売、飲食、公園など）はあまり有意な結果とならなかった。	地域の出生率に影響を及ぼす要因の分析に関する調査研究（一般社団法人北海道総合研究調査会）
	6	良好な住環境（持ち家世帯率、住宅延べ面積、一戸建て比率）	日本の出生率が高い都市において、住環境（持ち家世帯率、住宅延べ面積、一戸建て比率）は、高い水準を示している。子育て環境の視点から、住環境が出生率に影響していると仮説が立てられる。	
	7	男性（父親）の通勤時間（職住近接）	日本の出生率が高い都市において、男性の通勤時間は短い傾向にある。	
	8	保健師数	日本の出生率が高い都市において、保健師数が充実していた。産婦人科医・小児科医については、必ずしも出生率が高い市町に配置されているわけではない。	

４　札幌市の課題への対応に参考となる客観的指標
（２）社会増の参考となる客観的指標

- 「社会増（転入増・転出減）」に寄与に関する先行研究をいくつか調査し、現時点で信憑性が高いと考えられる客観的指標（指標を批判する論文等がない）を抽出した。
- 社会増は、自然増に比べて研究事例が少なく、有力な手掛かりはあまり見られなかった。
- 調査結果からは、主に「経済的な補助」が有効とされる結果が多かったが、経済的観点以外では、中高生のまちづくり参加が転出抑制に効果があると示唆する結果もみられた。

課題	No	先行研究が示す客観的指標または観点	概要	参考資料
社会増(転入増・転出減)	1	ひと月あたりの現金給与額	都道府県別の社会増減率とひと月あたりの現金給与額の関係性をみると、強い相関関係がみられることがわかっている。 なお、同一の研究において、住宅の広さ、犯罪率、都市の魅力度※は、相関関係がないという結果を提示している。 ※都市の魅力度：「地域ブランド調査（ブランド総合研究所）」にて、指定した地域名に対して「どの程度魅力的に思うか」というアンケート調査を実施した結果を指標化したもの。	近年の社会増減率に関する分析及び東京一極集中の論点について（国土交通政策研究所）
	2	就労・就業支援の充実（通勤・通学の補助金額）	埼玉県戸田市、愛媛県西条市、岐津健可児市、愛媛県知立市、千葉県いすみ市が実施した人口減少に関する調査（市民アンケート等）を分析したもの。 市民アンケートや既に実施している施策の内容を分析し、転入促進・転出抑制に効果がありそうな要素を抽出した。	人口減少対策に関する研究（西条市自治政策研究所）
	3	中高生のまちづくり参画度（まちづくりWS参加者数　等）		
	4	土地・住宅購入補助金額		
	5	事務系職種の求人率		
	6	結婚支援事業によるマッチング数